

奄美大島風力発電所 竣工式を執り行う

エンジニアリング部

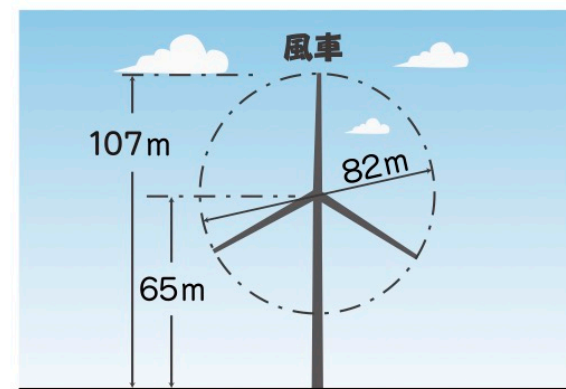
～奄美大島の新たなシンボルに～

12月22日、奄美大島風力発電所（鹿児島県奄美市）がこのほど完成し、現地で竣工式が執り行われた。式典には、奄美市の朝山市長ほか地元関係者、九州電力㈱から村上事業開発第1グループ長、福重奄美営業所長、また奄美大島風力発電㈱の社長を務める田口常務、同取締役の小島常務をはじめ関係者が出席。当社からは石井社長、吉富部長、井浦労働組合委員長ほか関係者が出席し、発電所の安全・安定稼働を祈願した。厳かに執り行われた神事に続き、直会の席上で石井社長から、工事完成の祝辞と日頃のご指導に対するお礼が述べられた。

当社と奄美市との共同出資で設立された奄美大島風力発電㈱は、平成21年4月から奄美カントリークラブ内で風力発電設備の建設を進め、定格出力1,990kWの風車1基を無事故無災害で完成した。年間発生電力量は約500万kWhで、約1400世帯分の電力消費量に相当。CO₂の排出量増加が懸念される中、CO₂排出量は年間約1800tの削減が見込まれ、また燃料は自然の風であり、原油換算でドラム缶年間約6000本の削減ができる見込みである。



◀謝辞を述べる田口常務



▲風車の大きさ